

会 議 記 録			
会議の名称	決算特別委員会(全体会)		会議場所 全員協議会室
			担当職員 加藤 太郎
日 時	令和3年9月22日(水曜日)		開 議 午前 11時 00分
			閉 議 午後 1時 26分
出席委員	◎小川 ○赤坂(産業建設分科会委員長) 木村総務文教分科会委員長 平本環境市民厚生分科会委員長 ほか委員18人 <福井議長、富谷議員(監査委員)>		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	山内事務局長、井上次長、加藤副課長、佐藤主任、小野主任		
傍聴	可	市民0名	報道関係者2名
			—

## 会 議 の 概 要

11:00

### 1 開 議

[小川委員長 開議]  
[事務局長 日程説明]

### 2 決 算 審 査

#### (1) 分科会委員長報告(報告、質疑)

[木村総務文教分科会委員長 分科会審査報告]  
[質疑なし]

[平本環境市民厚生分科会委員長 分科会審査報告]  
[質疑なし]

[赤坂副委員長(産業建設分科会委員長) 分科会審査報告]  
[質疑なし]

#### (2) 事務事業評価(分科会)の結果(質疑)

<小川委員長>  
各分科会の事務事業評価結果は、お手元配付のとおりである。質疑はないか。  
[質疑なし]

#### (3) 委員間討議

<小川委員長>  
委員間討議を実施するかお諮りする。意見はないか。  
[意見なし]

<小川委員長>

ここで休憩を入れ、その間に会派会議を行っていただく。休憩後に討論と採決を行

い、指摘要望についても協議する。また、事務事業評価についても、決算特別委員会全体会の結果とするため協議するので、よろしく願います。再開時刻は、午後1時とする。

11:24

[休憩 会派会議]

13:00

#### (4) 討論

<三上委員>

共産党議員団を代表して、第11号議案令和2年度亀岡市一般会計決算認定について、反対の立場で討論する。予算時にも反対の理由として申し上げているが、市民福祉の増進に寄与し困っている市民に寄り添うような予算立てになっていないことで反対してきた。コロナ禍でそういったことが十分にできていない点、不適切な支出と言わざるを得ない部分など、詳しくは本会議で申し述べるが、そのような点があるので、認定すべきでないという立場で反対する。

<松山委員>

第11号議案令和2年度亀岡市一般会計決算認定について、認定の立場で討論する。3分科会での決算審査、また、事前勉強会や現地視察も行った結果、緑風会として、決算に対して認定する。詳しくは本会議で述べさせていただく。

<山本委員>

公明党議員団を代表して、第11号議案令和2年度亀岡市一般会計決算認定について、賛成の立場で討論する。令和2年度は市制65周年、亀岡新時代幕開けの年、ターゲットイヤーとしてスタートしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼした。そのような中、財源確保に努められ、国の事業とも連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症への対策を講じられ、市民生活や地域経済への支援、また、近年頻発・激甚化する自然災害に備えた対策などにもスピード感をもって取り組まれた。市民の安全安心に向けた事務事業執行に努められ、実質収支が7億3,765万円の黒字になっていることを評価申し上げ、賛成の討論とさせていただく。詳しくは本会議で述べさせていただく。

<齊藤委員>

新清流会を代表して、第11号議案令和2年度亀岡市一般会計決算認定について、賛成の立場で討論する。一般会計の歳入決算額は473億2,878万2千円であり、前年度と比べて103億円以上増加している。主な要因は、寄附金や国庫支出金、交付金等であるが、自主財源をしっかりと確保している。主要3基金の残高が13億8,746万円となっているなど、財政健全化にしっかりと努め、実質公債費比率も13.3%と良好である。コロナ禍において、市民福祉の増進に強く努められていることにより、賛成の立場とする。詳しくは本会議で述べさせていただく。

#### (5) 採決

第11号議案 令和2年度一般会計決算認定について 賛成多数  
(反対：長澤、三上、田中、並河)

第12号議案 令和2年度国民健康保険事業特別会計決算認定について 全員賛成

第13号議案	令和2年度休日診療事業特別会計決算認定について	全員賛成
第14号議案	令和2年度介護保険事業特別会計決算認定について	全員賛成
第15号議案	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	全員賛成
第16号議案	令和2年度土地取得事業特別会計決算認定について	全員賛成
第17号議案	令和2年度曾我部山林事業特別会計決算認定について	全員賛成
第18号議案	令和2年度水道事業会計決算認定について	全員賛成
第19号議案	令和2年度下水道事業会計決算認定について	全員賛成
第20号議案	令和2年度病院事業会計決算認定について	全員賛成
第21～50号議案		
第55号議案	令和2年度亀岡財産区ほか29財産区会計決算認定について	全員賛成
第56号議案	令和2年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成
	令和2年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成

<小川委員長>

令和2年度一般会計、企業会計及び特別会計の決算関係議案については、全て認定・可決することに決定した。

## (6) 指摘要望

<小川委員長>

決算特別委員会全体会としての指摘要望事項について、意見はないか。

<木曾委員>

総務文教分科会と産業建設分科会から指摘されている内容については、全てを決算特別委員会全体会の指摘要望に入れていただきたい。

<大塚委員>

産業建設分科会の指摘要望事項の4点目、「今後も関係機関と連携するとともに、委員会へ定期的に報告すること。」は、どの指摘要望に掛かっているのか、それとも、産業建設分科会の指摘要望全体に掛かっているのかを整理していただきたい。

<木曾委員>

産業建設分科会では、資料に記載の上記3事業全てについて、関係機関との連携や委員会への報告を指摘要望することで整理したので、御理解いただきたい。

<大塚委員>

理解した。確認であるが、産業建設分科会の指摘要望である3項目について、関係機関との連携と委員会への報告を指摘要望することでよいか。

<木曾委員>

そのとおりである。指摘要望した事業については、産業建設分科会での審査の過程において、事前の報告があれば理解できたことがたくさんあった。そのようなことから、関係機関との連携も含めて、委員会への定期的な報告について指摘要望としたものである。事前勉強会や現地視察で確認しながら進めてきた内容でもあり、特に強調させていただいた。

<小川委員長>

各分科会からの指摘要望事項について、決算特別委員会全体会の指摘要望事項とし

て取り扱うことでよいか。  
—全員了—

### (7) 事務事業評価（全体会）の決定

<小川委員長>

各分科会の事務事業評価結果について、決算特別委員会全体会の事務事業評価結果として取り扱うことに意見はないか。

[意見なし]

<小川委員長>

これを決算特別委員会全体会の事務事業評価結果とする。

## 3 その他

### (1) 決算特別委員会委員長報告について

<小川委員長>

決算特別委員会委員長報告については、本日の全体会冒頭に各分科会委員長から報告いただいた内容をもとに、決算特別委員会正副委員長と各分科会委員長との協議により、決算特別委員会全体会委員長報告として、9月28日の本会議において報告することとしたいが、特に委員長報告に盛り込むべきことはあるか。

<木曾委員>

正副委員長と分科会委員長に一任するので、取りまとめをお願いします。

<小川委員長>

正副委員長及び分科会委員長に一任願う。

—全員了—

### (2) 議会だよりについて

<小川委員長>

議会だよりの記事については、正副委員長及び分科会委員長に一任願う。

—全員了—

[赤坂副委員長 あいさつ]

[福井議長 あいさつ]

[事務局長 以後の会議予定説明]

散会 13:26